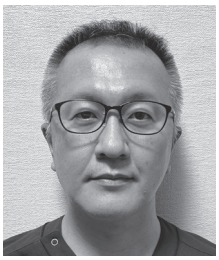
No.25-1（通巻37号）　発行日／2025年９月10日

理学療法かわら版

一般社団法人
山形県理学療法士会

目次

新年度役員紹介……1～8
役員紹介 …… 8
第33回山形県理学療法学術大会を終えて…… 9
第33回山形県理学療法学術大会 開催報告…… 10
第33回山形県理学療法学術大会 準備委員の声 …… 11
ニュース編集部よりお知らせ …… 12
事務局だより …… 12
編集後記 …… 12



会 長 挨 拶

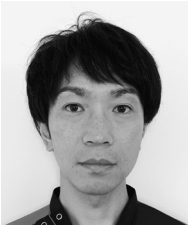
会　長
山形済生病院　**鈴　木　健　太**

このたび、山形県理学療法士会の会長を拝命いたしました、山形済生病院の鈴木健太と申します。２年間のブランクはございますが、岩井前会長のもとで副会長を務めた経験を活かし、精一杯努めてまいります。

先日開催されました2025年度定期総会において、新役員の承認をいただき､誠にありがとうございました。今回の人事により、理事会のメンバーは30代・40代を中心とした構成となり、世代交代が進んでおります。これまでの理事の皆様が築いてこられた山形県理学療法士会の良き伝統はしっかりと継承しつつ、時代の変化に応じて必要な部分は柔軟に見直し、理事一同で協議のうえ、より良い形へと進化させてまいりたいと考えております。

『Today』の会長挨拶でもお伝えしましたが、当会は「会員の資質の向上」「社会貢献」「組織の強化」という三つの基本目標のもとに事業を推進してまいります。まず資質向上については、どこからでも参加可能なオンライン研修を引き続き実施してまいります。30分程度の気軽に学べる内容から、60分・90分のより深い学びを得られる内容まで、さまざまな研修会を企画していきます。また、対面研修においては、県内で活躍している認定・専門理学療法士や、学会発表・専門資格取得に積極的に取り組んでおられる方々のご協力をいただき、顔の見える研修の機会を増やしていきたいと考えております。次に社会貢献については公益事業推進部を中心に対応していますが、企業や団体からの依頼が増加しています。職場のみならず、地域活動や予防事業に関心のある会員の皆様には、ぜひ当会の取り組みにご参加いただき、理学療法士としての知識や経験を県民の皆さまのために活かしていただければ幸いです。会員の皆様がリカレント教育を継続できる環境づくり、地域活動など専門職としての経験を地域社会へと還元できるような機会の創出にも力を入れてまいります。

理学療法士を取り巻く環境は日々変化しています。超高齢社会、地域包括ケア、働き方改革、そして多職種連携など、多くの課題と向き合いながらも、我々は専門職としてこれまで以上に柔軟かつ主体的に行動していく必要があります。そのためにも、当会が、会員一人ひとりの学びを後押しし、互いに高め合えるような組織であり続けることを目指してまいります。会員の皆様には、今後とも当会の活動に積極的にご参加・ご協力いただけますようお願い申し上げます。



副会長兼事務局長・学術局長
山形大学医学部附属病院　**大　森　　允**

この度、副会長と事務局長、学術局長を拝命しました大森允と申します。このような重責を担うことになり大変身の引き締まる思いであります。この度の改選は、鈴木健太先生が新たに会長に就任され、新体制での船出となります。副会長としての職責を精一杯こなし、鈴木会長を支えていけるように尽力してまいります。

さて、本会は、県内に勤務する会員の学術技能の研鑽と資質向上に努めるとともに県民保健の発展に寄与することを目的とし活動しております。昨年も述べましたが、近年、理学療法士の役割や専門性は多様化し、活動の場は医療や介護、福祉だけでなく、予防、健康増進、産業など様々な分野に広がりを見せています。こうした社会情勢の変化の中、私たち山形県理学療法士会も時代に応じた組織づくりを、スピード感をもって進めていく必要があると感じております。社会の変化に対応するために会員一人ひとりが生涯学習を継続し、その専門性を自身の臨床現場をはじめ地域・社会活動に活かせるような支援や体制づくりに取り組んでまいりますので、今後とも本会へのご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

副会長兼職能局長
最上町立最上病院　**多　田　雄　一**

ご挨拶と職能局についての所信

最上町立最上病院に勤務しております多田雄一と申します。

このたび、副会長兼職能局長という大役を拝命いたしました。歴代の先輩方が築いてこられた責任の重さに、身の引き締まる思いです。微力ではございますが、鈴木会長を支えながら、誠心誠意努めてまいります。何卒ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

「職能」とは何か、改めて考える

今回は、私たちの活動の中心となる「職能局」について、皆さまと一緒に考えてみたいと思います。「職能」という言葉はあまり聞き慣れないかもしれませんが、辞書には「職務を遂行する能力」と定義されています。とても広い意味を持つ言葉であり、理学療法士の業務と照らし合わせると、さらに多くの解釈が可能です。

たとえば、「理学療法士の職務とは？」と問われたとき、「SPDCAサイクルに基づく支援」「評価とエビデンスに基づく治療」「専門的な知識と技術の提供」など、さまざまな答えが返ってくることでしょう。どの答えも間違いではありませんが、いずれにしても「利用者様に対して直接提供するサービス」が私たちの職務の本質であると言えます。この職務を果たすために必要な力こそが「職能」であり、「職能とは何か？」を考えることは、理学療法士としての在り方を見直すことでもあります。

「職能」を身近な例から考える

ここで一つ、私自身の失敗から職能の一例をご紹介します。それは「スケジュール管理」です。利用者様のダブルブッキング、自分の休日に予約を入れてしまう、会議への遅刻――いずれも社会人としてやってはならないミスです。こうした事例からも、スケジュール管理が大切な職能の一つであることがわかります。

「職能」は周囲との関係性にも必要

さらに視野を広げると、利用者様との接し方、いわゆる「接遇」も非常に重要です。

声かけ一つで、利用者様の印象やその後のリハビリ意欲は大きく変わります。どのような声色、言葉遣い、表情、目線で接するか。接遇は重要な職能と言えます。せっかく評価や治療プログラムが優れていても、実施してもらえなければ意味がありません。また褥瘡対策やNSTなどのチームに所属している方も多いと思います。そうした場面では、多職種との調整力や協働力といった職能も重要になります。部下を指導する立場の方にはコーチング力、管理職の方にはマネジメント力も必要です。さらに、病院の外での活動では、行政との連携や地域住民への介護予防指導、企画力やプレゼンテーション能力など、より多様な職能が求められます。近年では、保険診療以外の分野で活躍される理学療法士や起業される方も増えており、職能の重要性はますます高まっています。

なぜ今「職能」が求められるのか

これからの理学療法士は、“選ばれる”時代に入ると予測されています。

日本全体で労働力不足が進む中、2026年以降には理学療法士の需給バランスが逆転するという試算もあります。理学療法士の多くは保険診療領域で働いていますが、限られた予算の中でサービスの質を競い合う時代になってき

ています。消費者の選択基準は、「質が同じなら安い方へ、価格が同じなら質の良い方へ」と言われるように、これまで以上に「選ばれる専門職」であることが重要になります。また多くの利害関係者からも同じように選ばれるのです。優れた職能を持ち、それを発揮できる理学療法士が求められるといえます。

最後に

職能局では、「理学療法士の職務をより良く遂行するために必要な能力とは何か？」という問いを中心に、皆さまの職能向上を第一に考え、活動してまいります。

至らぬ点も多々あるかと思いますが、今後ともご指導・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

副会長兼社会局長

いちまる訪問看護ステーション　**早　坂　慎　也**

この度、副会長に拝命されました早坂慎也です。私はこれまで公益事業推進部理事を３期６年務めました。６年前に公益事業推進部の前理事であった岩井先生の会長就任で理事を引き継ぐことになりました。部長や部員時代を含めると約20年、公益事業推進部一筋で活動してきました。公益事業推進部は対外的業務や理学療法士の広報的な任務を行います。20年前はまだ「理学療法士」が世に十分浸透しておらず、理学療法士が何をする仕事なのかを説明することから始めていた記憶があります。あれから20年も経過し「理学療法士」がだいぶ浸透し、高校生体験では理学療法士を志す約50名の高校生が学術大会を見学されていったのは良い思い出です。

しかしながら約４年前に突如として発生したコロナウイルス感染症により、我々の日常は大きく変化し、制限のある生活を余儀なくされました。当会の活動も例外ではなく、対外的な行事が軒並み中止となったり、対面行事ではない広報の形になったりするなど、様々様式を変えて活動を行ってきました。また、公益事業推進部は災害対策も担っており県内外の災害の発生の際にも、やまがたJRATと連携し、皆さまに支援依頼させていただきました。特に昨年発生した山形北部を中心とした水害においては、突然の依頼にも関わらず非常に多くの方から支援を頂戴しました。公益事業推進部は活動の幅も多く課題も残る反面、６年間会員の皆様のご協力もあり充実した活動が多かったと感じていました。

実のところ、前会長であった岩井先生の退任もあり、私の役員としての責務も前年度で卒業かと内心決めていました。そんな最中に、新会長となる鈴木先生より副会長を拝命されました。突然の拝命ではありましたが、鈴木先生にはこれまで多くの場面でお世話になっていることもあり、非常に悩んだ結果、ともに当会を盛り上げていく決意を持ちました。今回の体勢で新役員も大きく若返ります。これまで当会に大きく貢献頂いた諸先輩方の伝統を重んじ、当会が現在抱えている課題解決にも尽力させていただきます。何卒、会員の皆様のご協力の程宜しくお願いいたします。

教育局長

山形県立保健医療大学　**鈴　木　栄三郎**

この度、理事に就任いたしました鈴木栄三郎と申します。会員の皆様には、日頃より県士会活動へのご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

私は今期で３期目の活動となり、昨期に引き続き教育局長を拝命いたしました。教育部と生涯学習部を担当し、卒前・卒後教育の充実に取り組んでまいります。教育部では、臨床実習指導者講習会の開催など卒前教育に関する事業を推進いたします。特に診療参加型臨床実習への移行に伴う諸課題について、現場の声をお聞きしながら解決策を模索してまいります。生涯学習部では、前期・後期研修をはじめとする卒後教育を担当いたします。新生涯学習制度の開始から３年が経過し、今期２年で最初の更新年度を迎えます。この節目を機に、会員の皆様の活動を支援・促進してまいります。

教育局長として、「だれもが、いつでも、どこでも学べ、つながれる」環境の実現に責任を持って取り組みます。多様な働き方やライフスタイルを持つ全ての会員の皆様、そして将来を担う学生の皆さんが、学びたくなる魅力的な機会と交流の場を提供できるよう全力で取り組みます。皆様のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

支部局長兼置賜支部担当
米沢市立病院　**関　原　雅　人**

このたび、置賜支部の担当理事および支部局長を拝命いたしました関原と申します。理事としては２期目となりますが、今期より支部局長も務めさせていただくこととなりました。今後は、支部長の皆様と連携を図りながら、各支部の運営が円滑に進むよう尽力してまいります。

置賜支部の活動につきましては、昨年同様、症例検討会を中心に企画を進めていく予定です。特に、対面での開催を重視し、会員の皆様が顔を合わせて交流できる機会を設けることで、置賜地域内の施設間連携がよりスムーズに図られることを目指しております。

また、先日開催されました「第33回山形県理学療法学術大会」におきましては、置賜支部の会員の皆様に、事前の準備から当日の運営まで多大なるご尽力を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。おかげさまで、多くの参加者にご来場いただき、盛況のうちに大会を終えることができました。

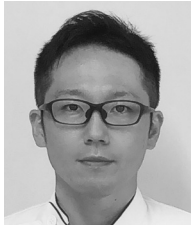
今後も、置賜支部の会員の皆様のご意見・ご要望に耳を傾け、地域のニーズに即した活動を展開してまいりますので、引き続きご理解とご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

学術局担当理事（学術大会部）
日本海総合病院　**長　岡　孝　則**

学術大会部を担当させていただきます長岡孝則です。私は臨床15年目になりますが、若年時は、学術大会への参加や発表はハードルが高いものに見えていました。しかし、学術大会に参加し、県内の仲間が取り組む学術活動を知ること、自分が直面している疑問や興味がある分野について討論することを経験し、むしろ気軽に参加することができ、研鑽を積むことができる魅力的な場と感じるようになりました。

近年は演題応募や参加人数も増加傾向であり、学術大会の存在はとても重要であると再認識しております。学術活動は研究のみではなく、日々の臨床疑問に向き合うことでもあります。自身の取り組む学術活動が周囲の仲間にも伝わっていくという循環が、山形県の理学療法のさらなる発展に寄与するものと考えています。

皆様にとって、学術大会が能動的で魅力的な研鑽の場、そして元気や勇気をもらう場になるよう、サポートできればと考えております。よろしくお願いいたします。



学術局担当理事（学術誌部）
公立置賜南陽病院　**須　貝　雄　大**

私は置賜支部活動や専門領域推進部での活動などを経て、この度、理事への立候補に至りました。長年県士会活動に従事して感じたことは、実動側と運営側との距離感でした。やりたいと思い発案した事がなかなかやらせてもらえず、もどかしい経験をしたこともありました。私は、やる気溢れる県内療法士の活躍を支えるとともに、一人ひとりの繋がりあいを高めていけるような取り組みを推進していきたいと思っております。

また近年、若い有能なセラピストが増えているものの、コロナ禍により、コミュニティーを広げにくかった現状があったと思っております。今までもこれからも、目的や目標を共有する仲間との関係づくりは重要であり、一人では成しえないことも、集うことで実現の可能性が広がることを多く経験しております。私は若いセラピストの方々を含めた交流の機会を増やし、横の繋がりも強めていく事が、より盤石な県士会躍進の礎になると信じております。

理事としての経験は浅いですが、県士会員一人一人の、更には県内の医療・介護・福祉領域の力となり、多くの方の幸せに寄与できるよう、努めてまいりたいと思います。

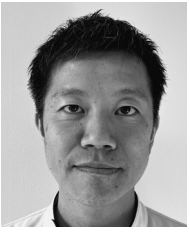
オーリンク株式会社
山形市北町三丁目８番２０号
電話（０２３）６８１－３６３３（代）

Your Healthy and Active Life With
YAMAGATA PROSTHESES INSTITUTE
あなたの健康で快適な人生の為に、山形義肢研究所ができること
有限会社 **山形義肢研究所**
ACCESS　山形市飯田五丁目5番39号
TEL　023-632-5214　　FAX　023-632-5215

学術局・教育局担当理事（専門領域推進部）
公立置賜長井病院　**海老名　陽　介**

理事２年目となりました、公立置賜長井病院の海老名陽介です。今年も専門領域推進部を担当させていただくことになりました。専門領域推進部は９つの領域に分かれていますが、現在部員が確保できず研修会等の企画ができない領域もあります。そのため、まずは部員の確保を行い研修会や勉強会の企画を考えていきたいと思っておりますので、興味のある会員の方はぜひ部員としてご協力をいただければ幸いです。

2022年度より多様化するニーズに応えうる理学療法士を育成していくため生涯学習制度がリニューアルしました。また、学校教育も変化していったことから卒後教育の重要性がより高まったと感じております。そのため、今年度は臨床経験の浅い会員向けの研修会を企画する予定です。生涯学習していくためにニーズに合った内容や方法を企画していきたいと考えておりますのでご協力よろしくお願いいたします。最後になりますが時代に合った方法で県士会活動を盛り上げたいと考えておりますのでご協力よろしくお願いいたします。



学術局・教育局担当理事（専門領域推進部）
山形徳洲会病院　**大　浦　徹　男**

このたび、専門領域推進部の理事を務めさせて頂くことになりました、山形徳洲会病院の大浦徹男と申します。専門領域推進部は、神経理学療法、運動器理学療法、生活支援理学療法、内部障害理学療法、小児理学療法、難病理学療法、スポーツ理学療法、ウィメンズヘルス理学療法、予防理学療法の9つの領域から構成されております。県内の理学療法士がそれぞれの専門性を活かし、医療・福祉分野にとどまらず、健康やスポーツといった幅広い領域で活躍できるよう、勉強会や研修会の企画・運営に取り組んでまいります。会員の皆さまに積極的にご参加いただき、有益な情報の提供や意見交換の場となるよう、部長や部員の先生方と協力しながら、時代の変化に即した組織運営に努めてまいります。当会の発展と会員の皆さまのご活躍の一助となれるよう、微力ながら誠心誠意努めてまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

事務局担当理事（事務部・組織部・倫理委員会）
山形済生病院　**花　野　太　郎**

このたび、事務部・組織部・倫理委員会の担当理事を拝命いたしました花野と申します。現在は理事業務の引継ぎを進めながら、各部の役割や幅広い業務内容、直面する課題への理解を深めております。就任にあたり、これまでの県士会活動の記録や議事録、皆様からの貴重なご意見に目を通し、当会が今日まで着実に発展してきたのは、諸先生方のご尽力と会員の皆様の温かいご支援の賜物であることを、あらためて実感いたしました。

今後は、会員の皆様の活動がより円滑に進められるよう、事務部においては業務の整理・効率化と費用の最適化に努めてまいります。組織部では、時代の変化や多様な働き方に柔軟に対応できる体制づくりを目指し、検討を進めてまいります。倫理委員会においては、倫理に関する調査および実例の共有を通じて、職業倫理・組織倫理のさらなる向上を図ってまいります。

微力ながら、鈴木会長をはじめとする新体制の一員として、真摯に取り組んでまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

医療機器・福祉用具販売レンタル
TOTAL MEDICAL COMMUNICATION
株式会社 トーク
日医器連適正事業所　第9406017号
福祉用具貸与事業所　0670700434
E-mail:somu@took.co.jp
〒997-0806
山形県鶴岡市遠賀原字稲荷41－2
TEL (0235) 22-1009 FAX (0235) 25-8139

医学書のことならお任せください
日本医書出版協会認定医学書専門店
医学書、看護学書、医書一般
株式会社 高陽堂書店
山形市大野目3-1-17　TEL 023(631)6001 FAX 023(632)1168
http://www.koyodo.com/　email info@koyodo.com

事務局担当理事（ニュース編集部・白書委員会）
至誠堂総合病院　**工　藤　　聡**

このたび、山形県理学療法士会理事を拝命いたしました工藤聡です。身に余る光栄であると同時に、その責任の重さを実感しております。

今回も事務局内のニュース編集部を担当させていただくことになりました。主な業務は、研修会や各種行事の案内作成、そしてLINEを活用した会員の皆さまへの情報発信です。忙しい日々の中でも、必要な情報をタイムリーかつ分かりやすく届けることを目指し、工夫を重ねてまいります。

情報が行き届くことで、県士会の活動がより身近に感じられ、会員の皆さまの参加や学びにつながることを願っております。また、現場の声を大切にしながら、より良い情報発信の形を模索し続けたいと考えております。

未熟な点も多々ございますが、どうぞ温かいご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。今後ともよろしくお願いいたします。

職能局担当理事（業務推進部・地域包括ケアシステム推進対策本部）
在宅リハビリ看護ステーションつばさ天童サテライト　**芦　埜　達　哉**

職能局の業務推進部、および地域包括ケア推進対策本部の担当を拝命いたしました、芦埜達哉です。業務推進部は３期目、対策本部は２期目となります。この場をお借りして、それぞれの部門について簡単に紹介させてください。

業務推進部には①地域リハビリテーション連携委員会②訪問リハビリテーション推進委員会③福祉領域推進員会の３つの委員会がございます。それぞれ施設間の連携促進や現場における知識・技術の向上、さらには交流機会の創出を目的に活動をしています。事業への参加を通して、より効果的な介入のためにはどんな工夫ができるか？一緒に考えていただけますと幸いです。

対策本部では、地域ケア会議や介護予防に関する事業など、県や市町村と関わりが深い活動を行っております。これらの依頼に対しては、個別的な支援から地域の課題解決に至るまで、専門職として求められる役割は多岐に渡ります。皆様が様々な依頼に安心して応えられるよう引き続き準備してまいります。

さて、ここまで少々堅い説明となりましたが、まずは気軽に参加してみてください。ちょっとした意見交換や会員同士の繋がりから得られるエネルギー・成果は計り知れません。皆様の参加をお待ちしております。

社会局担当理事（公益事業推進部）
みゆき会病院　**草　苅　尚　志**

この度、社会局公益事業推進部の担当理事を拝命しましたみゆき会病院の草苅尚志と申します。当会の理事担当は初めての経験となり、現在は運営方法や現状、課題などについて整理しているところです。

公益事業推進部の主な事業内容としては、①発災後のリハビリテーション支援活動（やまがたＪＲＡＴとの連携、研修会の開催）、②スポーツ障害の早期発見と予防指導などを目的とした支援活動（野球肘検診や認定スクールトレーナー）、③県民の健康増進や介護予防に対する支援活動（やまがた健康フェアへの参画）など外部での活動が中心となる部門となります。特に近年、大規模災害が日本各地で発生しており、昨年は能登半島地震、山形北部豪雨災害時には多くの会員の皆さまに活動いただいております。JPTA NEWS（2025.06No.355）に「備えと活動―災害支援はあなたの一歩から―」の特集も組まれておりますので、ぜひご一読ください。

このように理学療法士の活躍の場は多岐にわたります。会員の皆さま一人ひとりが「自分ごととして」考えていただけるような情報を提供するとともに、「外部に一歩踏み出せる！」そのような運営に心掛けてまいります。

何卒よろしくお願いいたします。

思いやりリハビリ・まごころケア
(有) 福祉用品やまがた
介護用品ショールーム
〒998-0842　山形県酒田市亀ヶ崎4-2-40
電　話（0234）**26-1725**
ＦＡＸ（0234）**26-6780**

義肢・装具・車いす
他整形医療器具製造・販売
(有)エムサポート
〒990-2212　山形市上柳110
TEL(023)687-2800 FAX(023)687-2812
取引銀行　山形銀行宮町支店(普通)0241881

社会局担当理事（広報部・調査部・表彰委員会）
山形県立中央病院　**黒　沼　大　紀**

このたび、新年度より山形県理学療法士会において広報部・調査部・表彰委員会の担当理事を拝命いたしました黒沼大紀と申します。微力ながら、会の発展と会員の皆様の活動支援に尽力してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

広報部では、本会の取り組みや理学療法に関する情報を、わかりやすく効果的に発信していくことが求められます。

また、調査部においては、会員の実態や地域における理学療法の現状を把握し、今後の方向性を示す重要な役割があります。いずれも、理学療法士の社会的価値の向上や、会員の皆様の声を会運営に反映させる上で、欠かせない取り組みであると考えております。

表彰委員会では、日々の臨床・研究・地域活動などで顕著な功績を挙げられた会員の皆さまを讃える取り組みを行っております。会員一人ひとりの努力が正当に評価され、次代への励みとなるよう、公正かつ丁寧な運営を心がけてまいります。

今後は、より多くの会員の皆様にとって有益となる情報発信と、実態に即した調査活動に努め、現場の声に耳を傾けながら、活動を進めてまいります。ご意見やご要望がありましたら、ぜひお寄せください。どうぞよろしくお願い申し上げます。

支部局担当理事（村山支部）
朝日町立病院　**伊　藤　　彩**

今年度より山形県理学療法士会理事となりました朝日町立病院の伊藤彩と申します。初めての理事でわからない事も多く、まだまだ子育て真っ最中の母という立場では積極的な活動が難しい現状ではあります。でも、そんな私だからこそ理事という立場から見える事、感じる事があるのではないかと考えております。微力ではありますが会員の皆様が参加しやすい県士会活動になるよう、出来る事を探していこうと思います。

この度は村山支部の担当理事として務めさせて頂くことになりました。これまでも村山支部の部員として活動させて頂く中で、会員同士が直接コミュニケーションをとれる機会は大切な時間なのだと再認識しております。子育て世代に限らず、県士会活動に時間を割くことが難しい会員の皆様も多い事と思いますが、お互いの顔を合わせて情報交換をしたり、一緒に学びを深めたりする事で得られるものもあると思います。会員の皆様が参加しやすい形を模索しながら、有意義な場を提供できるよう尽力させていただきます。今後とも何卒よろしくお願いいたします。

支部局担当理事（最北支部）
新庄徳洲会病院　**佐　藤　　泰**

皆様こんにちは。昨年度から引き続き最北支部担当理事をしております佐藤泰です。

最北地区は、県内でも最も医療・福祉資源の少ない高齢化が進んでいる地域であり運動機能の問題だけでなく生活全般に多くの問題を抱えている方もたくさんいらっしゃいます。それらの問題を解決するためには、急性期から生活期様々なシーンで活躍されている方々の知識や経験が必要不可欠です。支部で行う症例検討会も様々な立場からの助言が期待されています。昨年度は、最北支部にて年4回の症例検討会を実施させていただきました。支部員の皆様のご協力をお借りして対面でのグループワークを実施したり、オンライン形式で実施したり、ハイブリッド形式で挑戦したり様々な形式で症例検討会を実施しどのような形式だと参加率がよく満足度も高くなるかを検討しながら実施してきました。今期は横のつながりを深めるためのアイデアとして、症例検討会だけでなく若手向けの情報交換会や施設向けの情報交換会などの機会を設け交流を深めていき最北支部での連携を高めていきたいと考えています。よろしくお願いいたします。

オーダーメイドの福祉用具
LCS 株式会社 ライフケアサポート
山形県東根市温泉町1-13-10
TEL0237(43)6833　FAX0237(43)6832

医療の未来を見つめる総合商社
岡崎医療株式会社
■本　　社　山形市あこや町三丁目4番3号
■山形営業所　〒990-0025　☎023-623-0546
■鶴岡営業所　鶴岡市大字安丹字村上4番10号
〒997-0057　☎0235-22-0106

支部局担当理事（庄内支部）
鶴岡市立荘内病院　**瀬　尾　章　央**

この度、山形県理学療法士会の理事として庄内支部長を拝命しました鶴岡市立荘内病院の瀬尾章央と申します。

会員の皆様にとって有益かつ透明性の高い組織であるように微力ながら尽力してまいります。よろしくお願い申し上げます。

庄内支部の活動には、大きく①症例検討会、②一症例検討会、③情報交換会があります。

その中でも一症例検討会は、支部活動が開始当初より継続してきた庄内支部の伝統と言えるもので、一人の症例を病期をまたいで検討しております。急性期、回復期、維持期とそれぞれの時期の症状を報告した後に現在抱える問題点についてグループワークで検討します。参加者みんなで考え様々な意見を出し合い、事例提供者や発表者の方の“これから”の一助になれればと実施しております。

異なる病期を繋げることで、横のつながりを強化することは勿論、普段接することがない病期のことを知り・考えることで若手理学療法士の考えの幅を広げることができればと思い今後も継続していきたいと考えております。

庄内地方と一括りに言いましても広範囲で会員数も年々増加しております。学会運営や様々な活動を一体となって行えるように顔の見える事業を大切にしていきます。

今後ともご協力よろしくお願いいたします。

令和７・８年度役員一覧

会　長	鈴　木　健　太	山形済生病院
副会長（学術局長、事務局長）	大　森　　允	山形大学医学部附属病院
副会長（職能局長）	多　田　雄　一	最上町立最上病院
副会長（社会局長･地域包括ケアシステム推進対策本部）	早　坂　慎　也	いちまる訪問看護ステーション
教育局長	鈴　木　栄三郎	山形県立保健医療大学
支部局長（置賜支部）	関　原　雅　人	米沢市立病院
学術局担当理事（学術大会部）	長　岡　孝　則	日本海総合病院
学術局担当理事（学術誌部）	須　貝　雄　大	公立置賜南陽病院
学術局・教育局担当理事（専門領域推進部）	海老名　陽　介	公立置賜総合病院
学術局・教育局担当理事（専門領域推進部）	大　浦　徹　男	山形徳洲会病院
事務局担当理事（事務部・組織部・倫理委員会）	花　野　太　郎	山形済生病院
事務局担当理事（ニュース編集部・白書委員会）	工　藤　　聡	至誠堂総合病院
職能局担当理事 （業務推進部・地域包括ケアシステム推進対策本部）	芦　埜　達　哉	在宅リハビリ看護ステーション つばさ天童サテライト
社会局担当理事（公益事業推進部）	草　苅　尚　志	みゆき会病院
社会局担当理事（広報部・調査部・表彰委員会）	黒　沼　大　紀	山形県立中央病院
支部局担当理事（村山支部）	伊　藤　　彩	朝日町立病院
支部局担当理事（最北支部）	佐　藤　　泰	新庄徳洲会病院
支部局担当理事（庄内支部）	瀬　尾　章　央	鶴岡市立荘内病院
監　事	今　野　珠　美	東根市役所
監　事	菊　池　み　き	国立病院機構山形病院

第33回山形県理学療法学術大会を終えて

大会長
三友堂病院　**菅　野　英　雄**

６月21・22日の二日間にわたり開催された第33回山形県理学療法学術大会に参加された会員の皆様、また残って仕事をされた会員の皆様、学術大会の準備・運営に協力して頂いた皆様、心より感謝申し上げます。

今学術大会の２年以上前に大会長の命を受けて準備を進めて参りました。テーマを一次予防にすると決めるまで悩み時間を要しましたが、その後は準備委員の協力と士会のサポートもあり、無事開催を迎えることができました。真田十勇士ならぬ、信頼のおける準備委員10人の精鋭のおかげで辿り着いたと思っています。

通常なら米沢市開催となるはずが、施設の改修工事のため予約が取れず、南陽の施設は視察に行って舞台でイメージを膨らませましたが予算との調整が難しく、残念ながら断念し、高畠町のまほらを選んだ状況でした。大会数日前に山形新幹線がトラブルで運休となり、大工谷新一先生のタイトなスケジュールと相まって、急遽オンライン開催に切り替えることになりましたが、幸い施設側のスタッフに詳しい方がいたことで無事講演できたことは怪我の功名でした。また一般公開講座の星真行先生と縁のある地域でもあり集客にもつながったことも、今思えば高畠開催になるべくして、導かれたような気がします。

開会式では「後の先をとる」を祝辞でも引用して頂き、テーマに込めた想いを汲み取っていただいたことに感動を覚えました。特別講演の大渕修一先生のご講演でも取り上げて頂き、恐縮と面映ゆく壇上で聞いておりました。講演内容も熱意ある言葉で理学療法士の希望ある未来を示して頂き、その後のシンポジウムでも身近に感じられるように取り組みを紹介して頂き、とても刺激を受けた内容でした。教育講演の大工谷新一先生のご講演でも、もっと地域で活動することがこれからの理学療法士の職域を広げるためにも必要だと感じました。一般公開講座では一般の方が大勢集まった中開催され、最後には会場が感動に包まれた空気となりました。また、口述発表やポスター発表も活発な議論が行われており、予防に関する発表も数多く出題されました。

県学会は身近な知り合いの近況を確認し、頑張っている姿を見て、Liveの熱量を感じ、刺激をもらえる大会だと感じます。来年度も是非、会場に足を運んで頂き、庄内地区での開催が盛況になることを祈念したいと思います。

最後に大会運営はほぼボランティアです。人とのつながりなど得難い経験もありますが、準備にかかった時間や労力は少なくありません。士会の活動に携わる会員の努力を評価して頂き、努力が報われる職能団体になることを期待します。

福祉用具開発・レンタル販売　http://www.tamatsu.jp
株式会社タマツ
TAMATSU
本　社　山形県鶴岡市美咲町32-7(〒997-0857)
TEL 0235-23-6333／FAX 0235-25-3889

◆山形県厚生省労働省指定◆
(有) 渡部義肢
◆営業品目◆
義足・義手、コルセット、車椅子、ステッキ、下肢装具、上肢装具、骨格義足(モジュラー)
〒997-0861 山形県鶴岡市桜新町8番地52号
TEL(0235)25-9366 FAX(0235)25-9364

第33回山形県理学療法学術大会　開催報告

大会準備委員長
米沢市立病院　**関　原　雅　人**

2025年６月21日（土）・22日（日）の両日、高畠町文化ホール「まほら」にて、第33回山形県理学療法学術大会を開催し、無事に終了いたしました。当日は、一般参加者を含めて412名もの多くの皆様にご参加いただき、大変盛況な大会となりましたことをご報告申し上げます。

本大会では、「一次予防における理学療法士の役割」をテーマに掲げ、特別講演・教育講演・シンポジウム・一般公開講座・一般演題発表など、多彩なプログラムを通じて一次予防の重要性と理学療法士の関わりについて多角的に学ぶ機会を提供させていただきました。

特別公演では大渕修一先生より「一次予防に理学療法士として備える」と題し、老化の可塑性や健康寿命延伸に向けたアプローチ、そして理学療法士が今後どのような視点で一次予防に取り組むべきか、その方向性についてご講演いただきました。

教育講演では大工谷新一先生より、子どもの発育・健康、学校保健への理学療法士の関わり、さらにスクールトレーナー制度の紹介を通じて、子どもの健康を守る活動における理学療法士の重要性をご示唆いただきました。

私が座長を務めましたシンポジウムでは、中村拓成先生（スポーツ分野）、庄司優喜子先生（ウィメンズヘルス分野）、井上由香先生（労働者分野）の３名をお招きし、それぞれの現場での実践や課題、今後の展望についてご講演いただきました。参加者にとって、今後一次予防の活動を進めるうえでの気づきや示唆に富んだ内容となったのではないかと思います。

一般公開講座は星真行先生より「筋萎縮性側索硬化症とともに生きた30年」と題しご講演いただき、ALSの最新治療やケアに加え、ご家族としての経験や意思決定支援の実際についてお話いただきました。参加者からは、「本人の長年にわたる家族の介護に対し感謝を綴った手紙が印象に残った」との声も聞かれ、多くの参加者の心に深く響くご講演となりました。

一般演題については41題もの多くの演題が寄せられ、一次予防に関する研究や症例報告など、多岐にわたるテーマでの発表が行われました。いずれの発表においても活発な質疑応答が行われ、発表者・聴講者ともに実り多い時間となりました。

本大会に向けては、２年前から準備委員会を立ち上げ、開催に向けて綿密な準備を進めてまいりました。会場の決定に難航したこと、演題募集が思うように進まなかったこと、さらには交通事情による講師の急なオンライン参加への対応など、多くの困難もございました。しかしながら、準備委員をはじめとする関係者の皆様のご尽力により、無事に大会を成功裏に終えることができたこと、この場をお借りし心より感謝申し上げます。

県学会は、年に一度、県内の理学療法士が一堂に集まり、互いの取り組みを共有し合える貴重な機会です。顔を合わせることで、職場を超えた連携のきっかけともなるかと思います。学会参加によって得られる学びやつながりは、日々の臨床にも大きな力となるはずですので、ぜひ積極的に学会にご参加いただければと思います。

最後になりますが、ご参加いただいた皆様、ご講演を賜りました先生方、演題をご発表いただいた先生方、そして準備にご尽力いただいたすべての関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。来年度の学会が、さらに実りあるものとなりますよう、心よりお祈り申し上げます。

あなたの笑顔が見たいから
株式会社 蔵王サプライズ
●リネンサプライズ・ホスピタルリネン事業部　●ホームヘルスケア事業部　●リースキン事業部
ホームヘルスケア事業部　山形市銅町二丁目21番４号　TEL（023）674-9600
支店・営業所　仙台支店／新庄営業所／庄内営業所

生命科学・医療福祉分野を総合的にサポートする
株式会社 シバタインテック
■山形支店　〒990−2323　山形県山形市桜田東二丁目１番21号
TEL:023-642-8153 / FAX:023-623-5853
本社（仙台）・荘内営業所・鶴岡営業所・郡山営業所・ロジスティックセンター・メンテナンスセンター

Topics：第33回山形県理学療法学術大会　準備委員の声

・実行委員の一員として、学術大会の運営に携わるのは初めてであり、大変貴重な経験をさせていただいたと思っております。士会の先生方はじめ準備委員の皆さん、協力員の皆さん、参加してくださった皆さん一人一人のおかげで大会が創り上げられているということを改めて感じたところです。置賜地区開催にも関わらず、たくさんの会員の皆様にお越しいただき、大変嬉しく、感謝申し上げます。

・準備委員として参加させていただき、有益な発言もできず、ただ参加していることが多くて申し訳なかったですが、委員の皆さんと関わることができて刺激になり、勉強になりました。
当日は自分に務まるのか不安でしたが、マニュアルのおかげでスケジュールを立てることができ、スタッフの協力のもと、迷うことなくスムーズに動くことができたと思います。また、準備の段階で高畠の方々と関わる機会がありましたが、どの方も温かく親切で、快く引き受けて下さり、とても助けられました。ありがとうございました。

・準備委員の皆さんが他院にも呼びかけを行ってくださったおかげで、多くの方々にご参加いただくことができました。限られた予算の中でも工夫を重ねて進めることができ、無事に33回大会を終えることができたことを、心からうれしく思っています。

・今回初めて運営側として学会に関わらせて頂きました。約２年間という長丁場で準備を進めていくなかで沢山の方のご協力やご尽力があって成り立っているということを感じました。当日は大きなトラブルもなく無事に成功と言える形で終わることが出来、準備委員として関われたことを嬉しく思います。

・準備期間から後片付けまで、置賜地区の協力会員はじめ、学術大会部の方や、今回関わってくださった皆さんの協力がなければなりたたない学会であったと感じています。特に、今回担当となった受付係と会場係は、リーダーを中心に、細かな対応もして頂き感謝しかありません。

・大きなトラブルなく無事に学会を終えることができてほっとしています。各係のリーダーをはじめ、当日ご協力頂いたスタッフのみなさんのおかげです。本当にありがとうございました。

・準備委員の大変さを感じつつも、一から学術大会を作る楽しさや充実感を感じることが出来た2年間でした。成功裏に終えることができほっとしている反面、33回大会が終わってしまい少し寂しい気持ちです。多くの方々のお力添えを頂いたこと、この場をお借りし感謝申し上げます。

第33回山形県理学療法学術大会準備委員の皆様ありがとうございました

第34回山形県理学療法学術大会は庄内開催！

会員の皆様のご協力とご参加よろしくお願いします!!!

ニュース編集部よりお知らせ

【公式LINEアカウント登録のお願い】

ニュース編集部では昨年より会員の情報収取の利便性向上、事務局の業務負担軽減を目的に公式LINEアカウントを立ち上げました。登録会員数がまだ少ない状況ですので主旨をご理解の上ご協力いただきたくお手数をおかけしますが以下の方法にて手続きお願いいたします。

■友だち登録方法

スマートフォンにて無料通話・無料メールスマートフォンアプリ「LINE（ライン）」をダウンロード後、アプリ内の「ホーム」タブ画面の右上、人型アイコンをタップ後、下記の方法にて友だち登録を行ってください。

①二次元コードリーダーで友だちに追加

1）［二次元コード］をタップし、右の二次元コードを読み取ってください。
2）「追加」ボタンをクリックすることで登録完了です。

②検索で友だちに追加

1）［ID検索］を選択し「@443cckok」と入力し検索してください。
2）「追加」ボタンをクリックすることで登録完了です。

■山形県理学療法士会　LINE公式アカウント

LINE ID：@443cckok　アカウント表示名：山形県理学療法士会

事務局だより

【会員異動届の手続きについてのお願い】

会員の皆様に刊行物が確実に送付できますよう会員異動届の手続きをお願いいたします。

施設に勤務されている会員で自宅会員として登録している場合は、速やかに勤務先を登録し、勤務先を異動した場合は異動申請を行なってください。会員の皆様には､改めてご自身の会員情報登録状況のご確認をお願いいたします。

なお、登録状況の確認は日本理学療法士協会ホームページの「マイページ」の会員管理－会員情報確認より行えます。また、勤務先の異動や改姓などの申請は、会員管理－異動申請より手続きを行なってください。皆様に情報が速やかに伝達できますように何卒ご協力をお願いいたします。

編集後記

みなさん、こんにちは。広報部担当理事の黒沼です。

今回も「かわら版」を手に取っていただき、ありがとうございます！

さて、まずは「最近どうですか？」と聞きたくなる季節ですね。９月に入り、朝夕には少しずつ秋の気配が感じられるようになってきましたが、日中はまだまだ夏の暑さが残っています。通勤や訪問の合間に汗が止まらない…なんて声もちらほら。そんな中でも、現場や地域で奮闘する皆さんの姿を広報部として発信できることは、本当に誇らしく、ありがたいことだと感じています。

今号では、新年度体制となったことを受けて、新役員理事のあいさつを掲載しています。さらに、第33回山形県理学療法学術大会に関する記事として、大会長のごあいさつ、準備委員長からの報告、そして準備委員として関わった皆さんの声もお届けしています。それぞれの立場から見える思いを感じていただければ幸いです。

「うちの活動も載せてほしい！」という声があれば、ぜひお気軽にお知らせください！

また今回は、かわら版の今後の内容充実や改善の参考とさせていただくために、簡単なアンケートも実施しています。紙面に掲載の二次元コードからアクセスしてご回答いただけますので、ぜひお時間のあるときにご協力をお願いします。皆さんの声が、次号以降の大切なヒントになります。

理学療法士会の活動というと、少し堅い印象を持たれるかもしれませんが、実際には人とのつながりや温かさにあふれたエピソードがたくさんあります。かわら版では、そんな“ちょっといい話”も拾い上げていけたらと思っています。

今後も「伝わる広報」を目指して、皆さんに寄り添う発信を続けてまいります。

「読んだよ」「あの記事、よかったよ」――そんなひと言が、何よりの励みです。

それでは、次号もお楽しみに！

広報部　山形県立中央病院　黒沼　大紀

Okaze
OKAZE CORPORATION
株式会社大風印刷　〒990-2338 山形県山形市蔵王松ヶ丘 1-2-6　TEL.023-689-1111
●天童営業所‥☎023-654-5715　●東根営業所‥☎0237-53-0117
●仙台営業所‥☎022-399-7861　●東京営業所‥☎03-5829-6650

■発　行／一般社団法人　山形県理学療法士会
■発行者／鈴木　健太
■編集者／黒沼　大紀、守　一彦、鈴木　美和、石沢　栄太、金子絵梨花、加藤　美妃、鈴木　春香
■広報部／E-mail：yamagataptkouhoubu@gmail.com